

【報道関係各位】



茨城県

IBARAKI Prefectural Government

<問い合わせ先>

茨城県産業戦略部科学技術振興課  
科学技術グループ【担当者】若林・飯田  
直通：029-301-2532

令和2年11月27日

## 「第1回いばらきイノベーションアワード」の授賞式を 11月27日（金）に開催いたしました

茨城県では、今年度創設した「いばらきイノベーションアワード」の大賞（賞金100万円）及び優秀賞を決定し、本日、茨城県知事応接室にて、授賞式を開催いたしましたので、ご連絡します。

日時：令和2年11月27日（金）15：00～15：20

場所：茨城県庁舎知事応接室

授与者：茨城県知事 大井川和彦

受賞：【大賞】 医療相談アプリ「リーバー」（株）リーバー

【優秀賞】 創薬合成技術HiSAP®による新薬候補化合物の提供（株）アークメディスン  
ドローンAIシステム「ハリスホーク」（株）ロックガレージ

受賞製品・サービスにつきましては、別紙資料をご参照願います。

また、詳細につきましては各社にお問い合わせください。

12/21（月）につくば国際会議場で開催する「Society5.0シンポジウム（主催：茨城県）」において、受賞者の紹介や製品・サービスの展示を行いますので、是非ご参加ください。



<いばらきイノベーションアワード概要>

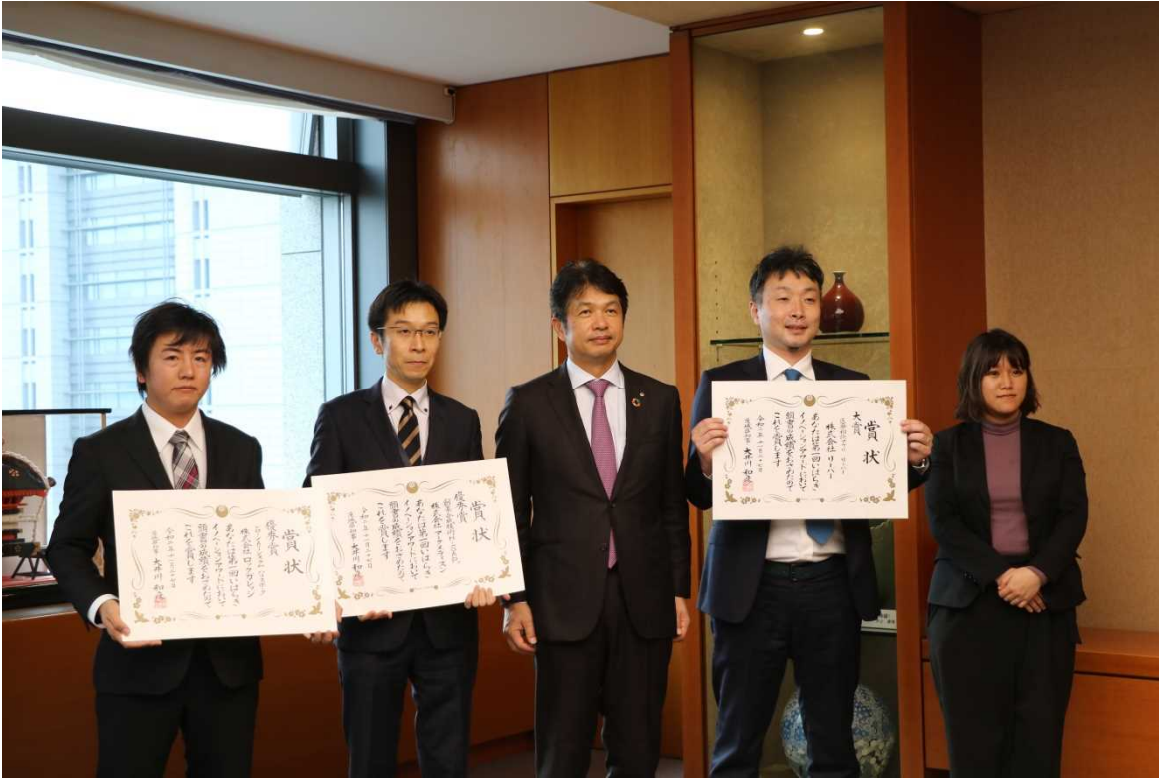
- ・内容：県内企業等による先端技術を活用した新製品・新サービスのうち特に優れたものを表彰する。
- ・目的：先端技術を活用した新製品・新サービスを対象に表彰を実施することで、より一層の製品化や地域経済を支える新産業の成長を促進する。
- ・募集対象：概ね3年以内に発売された先端技術を活用した新製品・新サービス
- ・応募状況：26件
- ・審査：外部有識者等による書面及び動画審査
- ・表彰：大賞（1件）：賞状及び記念品，目録（100万円）を授与  
優秀賞（2件）：賞状及び記念品を授与

授賞式の写真につきましては、写真データを保存したUSBを県政記者クラブのホワイトボードに提供いたしますので、ご活用ください。

< 授賞式写真 >

受賞者全体写真

左から(株)ロックガレッジ,(株)アークメディスン,大井川知事,(株)リーバー



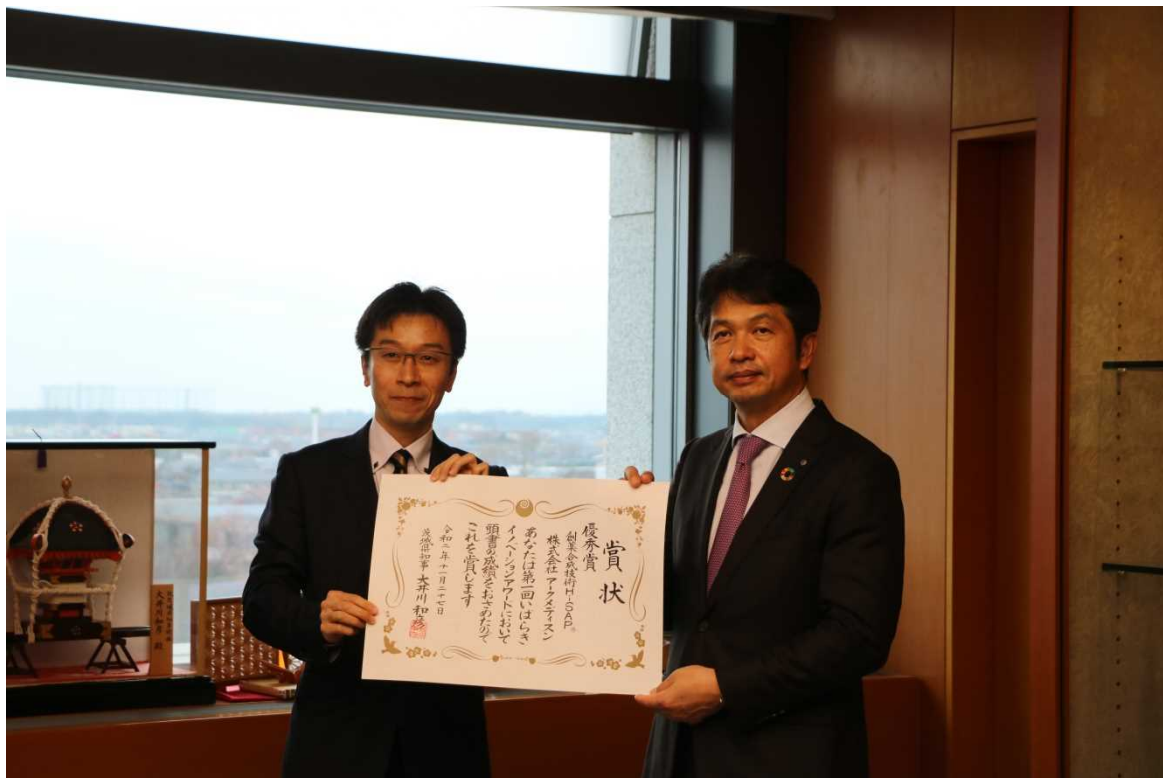
大賞受賞者写真(株式会社リーバー)

左から営業部大北慧氏,伊藤俊一郎代表取締役,大井川知事



優秀賞受賞者写真（株式会社アーケメディスン）



左から田中圭悟代表取締役社長，大井川知事




優秀賞受賞者写真（株式会社ロックガレージ）

左から岩倉大輔代表取締役，大井川知事



<p>新製品・新サービス名</p>	<p>申請者</p>	<p>&lt; 問い合わせ先 &gt;  株式会社 リーバー  TEL : 029-896-6263</p>
<p>医療相談アプリ「リーバー」</p>	<p>株式会社 リーバー</p>	
<p><b>【概要】</b>  自動チャットボット問診により、患者と医師双方に負担をかけない医療相談サービスを実現。月額350円で相談可能。  革新性・独創性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問診結果を自動で判定し、疑われる症状やその症状に合った市販薬の候補を自動で表示することが可能なため、医師は3分程度のすきま時間で回答が可能。  (通常外来約45分)</li> <li>汎用性・市場性</li> <li>体温チェック機能、ストレスチェック機能を加えた企業や教育機関向けプランも全国で導入拡大中。</li> </ul> <p>地域課題への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師数ワースト2位の茨城県を全国の医師がサポートすることで住民に安心・安全・便利を提供。</li> </ul> <p>社会普及可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン1つで利用可能かつ月額利用料も安価。単回利用も可能なため敷居が低い。</li> </ul>	<div data-bbox="786 497 1397 874"> <p><b>Product : 問診</b>  チャットボットのリーバー君が自動で問診(約3分)</p>  <p>リーバー君</p> </div> <div data-bbox="786 874 1397 1295"> <p><b>Product : 医師のアドバイス</b>  最速1分で!市販薬&amp;医療機関のオススメも</p>  </div>	<p><b>【審査員コメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齡化及びウィズコロナ社会に求められる新たな医療の形を既に実証している。</li> <li>医療相談という観点では、他社にも競合はたくさんいるが、地域の課題解決への貢献や先端技術の社会普及という観点で、学校教育等の体温測定等にピボットしている点が評価できる。</li> <li>アイデアは特別革新的という訳ではないが、システムを実現した点が大変素晴らしい!安価である点も魅力。</li> </ul>

<p>新製品・新サービス名</p>	<p>申請者</p>	<p>&lt;問い合わせ先&gt; 株式会社 アークメディスン TEL：029-898-9993</p>
<p>創薬合成技術HiSAP®による 新薬候補化合物の提供</p>	<p>株式会社 アークメディスン</p>	
<p><b>【概要】</b> 創薬合成技術HiSAP®は世界で特許を取得した様々な有機合成試薬とそれらの創薬応用ノウハウで構成され、薬剤として優れた特徴を有する新薬候補化合物を短期間で提供するサービス。(通常3年～5年かかる新薬候補化合物創出を約1年で実現する。)</p> <p>革新性・独創性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HiSAP®は世界で特許を取得している技術である。</li> <li>・HiSAP®のように知財化した創薬合成技術を用いて新薬創出をおこなっている会社は、国内のみならず海外にも存在しない。</li> </ul> <p>汎用性・市場性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外問わず、製薬企業では自社発の新薬候補化合物が枯渇しており、外部からの提供・導入が期待されている。</li> </ul> <p>地域課題への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波大学との新薬創出に向けた共同研究が進行中であり、また、つくば市内の製薬企業との共同研究も議論が進んでおり、研究の立場から地域活性化に貢献できる。</li> </ul> <p>社会普及可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本サービスにより次々と新薬候補化合物が創出されるため、これまでより広い医療ニーズに対して新薬の研究が推進されると期待できる。</li> </ul>	<p>これまでのHiSAP実績</p>  <p>成功*：9プロジェクト中7プロジェクト 合成化合物数：50以下</p> <p>水溶性や膜透過性などを改善</p> <p>特許性のある 新薬候補化合物</p> <p><small>*薬理活性が保持または向上、 かつ薬剤プロファイルが10倍以上改善</small></p>	<p><b>【審査員コメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特許技術を基に多大な先行投資が必要な分野で果敢にグローバルな創薬技術革新を目指している。ハイリスクハイリターンな製品であるが、応援したいと思う。</li> <li>・ベースとなる技術は確立されていると考えられる。</li> </ul>

新製品・新サービス名	申請者	<問い合わせ先> 株式会社 ロックガレージ TEL：090-1229-8306
ドローンAIシステム「ハリスホーク」	株式会社 ロックガレージ	
<p><b>【概要】</b> リアルタイム映像をもとに、災害時等の捜索者の位置をAI（ディープラーニングに基づくAI技術による人影・人型の検出）によって検出し、その結果を関係者に即時共有する。</p> <p><b>革新性・独創性</b> ・訓練を必要とする操縦や人物検知をAI等の技術によって自動化し、誰が運用しても同等のドローン捜索が可能。</p> <p><b>汎用性・市場性</b> ・AIに対する学習データを変えることによって、避難者捜索以外に獣害調査、自動車等の交通状況、土砂崩れ倒木、不法投棄・漂着ごみ等の検出・監視に応用が可能。</p> <p><b>地域課題への貢献</b> ・本県の各種登山・ハイキングコースにおける遭難対応、獣害問題、台風等による被災状況の迅速な把握に貢献できる。</p> <p><b>社会普及可能性</b> ・当製品の活用によって、AIやドローンなどの先端技術の有効性を示すことができ、社会普及にもつなげることができる。高額な専用設計ドローンではなく、普及している市販のドローンを使ってシステムを動かせるため、導入ハードルが低い。</p>		<p><b>【審査員コメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 捜索の用途以外に、制度が整えばいろいろな用途が考えられる。</li> <li>・ AIがドローンの目を担う点は教科書的であるが、<u>全自動化による負担軽減メリットは大きい。</u>大量の自動ドローンを同時に飛ばすことで、探索可能性は無限大になる。無人飛行が可能という点を評価した。</li> </ul>

